

近代日本音楽史セミナー

唱歌とわたしたち

尋常小学唱歌と国民的幻想を考える

最新研究が迫る！唱歌が作り上げた「日本人の心のふるさと」とは？

●日時：2025年10月19日(日) 13時
(受付開始：12時30分)

●会場：東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス C400教室
東京都目黒区上目黒1-9-1 東急東横線「中目黒駅」「代官山駅」より徒歩5分

●主催：青森中央学院大学

●後援：東京音楽大学



演奏

プレゼンテーションⅠ

プレゼンテーションⅡ [耳で味わう尋常小学唱歌の戦前・戦後]



北原かな子

青森中央学院大学教授

総論 愛唱歌の背景にあるもの



鈴木啓孝

熊本大学准教授

尋常小学唱歌誕生とその時代



河西秀哉

名古屋大学准教授

戦後に尋常小学唱歌はどう歌われたのか？



ソプラノ 中丸知美

東京音楽大学
助教



バリトン 成瀬当正

東京音楽大学
非常勤講師



ピアノ 広瀬宣行

東京音楽大学
准教授

参加費 無料

お申込み 事前のお申し込みは不要です

[制作] 坂元勇仁(東京音楽大学特任講師)

セミナーの開催にあたって

尋常小学唱歌は、戦前の学校教育の中で歌われた曲集です。現在、「日本人の心の故郷」と称される歌の中に「ふるさと」や「朧月夜」をはじめとした尋常小学唱歌の曲が入っています。尋常小学唱歌ときくと、穏やかな美しき日本を思い浮かべる方も多いのではないでしょうか。

しかしこの尋常小学唱歌は単独の作詞作曲者によって作られたものではなく、日露戦争後の時代背景の中で、委員長湯

原元一を中心に、作詞者・作曲者合わせて12名の合同制作によって作られました。

このセミナーでは、尋常小学唱歌が成立時の時代背景の中でどのような意図を持って作られたのか、またそれが戦後の日本の中でどう捉えられるようになったのかについて、思想史・日本史の視点から皆さんと一っしょに考えていきたいと思います。

お問い合わせ 青森中央学院大学 研究支援・地域連携課 Tel : 017-728-0131 Mail : kenkyushien@aomoricgu.ac.jp